

「BOSAサイエンスフィールド」

東館3階 リニューアルオープン

2021年6月30日(火)、東館3階「BOSAサイエンスフィールド」がリニューアルオープンしました。最新の防災知識を楽しみながら学び、南海トラフ地震等の巨大災害や風水害に備える力を養うことができます。皆さまのご来館をお待ちしております。



3D&VR
ひとぼうツアー《東館編》
コロナ禍により外出を控えている方や来館が困難な方に向けて、東館の展示物を見学いただける3Dビュー＆VR映像を無料公開しております。是非ご利用ください。

**BOSA
SCIENCE
FIELD**

コロナ禍により外出を控えている方や来館が困難な方に向けて、西館・東館の展示物を見学いただける3Dビュー＆VR映像を無料公開しております。ぜひご利用ください。

▶▶▶ <https://www.dri.ne.jp>

資料室の感染防止対策について

資料室は、感染防止対策をとりながら開室しております。
資料室利用者の皆様には、引き続き、感染防止のご協力をお願いいたします。

滞在時間の短縮に ご協力をお願いします

- 閲覧する二次資料は事前に検索システムをご利用下さい。
- 一次資料の閲覧は事前(3日前まで)に申請を行って下さい。
- レファレンス・調べ物は、窓口以外(電話・メール・FAX)をご利用ください。



閲覧席の数 を減らしています

- 利用者同士の距離を一定程度保つため、閲覧席の間隔を広げています。
- 利用者間の飛沫感染を防ぐため、私的な会話はお控え下さい。



▲閲覧席には、パーティションを設置しています。

共用機器類の 利用停止 (または一部利用停止)

- 不特定多数の方が使用する機器の利用を制限しています。

最新の情報は HP・Facebookで

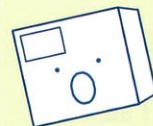


▲HP



▲Facebook

震災資料をお持ちの方に



人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな?」と、おっしゃる方もなかにはいらっしゃる。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、**震災の出来事を伝えるために活用したい**とお考えの方など、悩んだ際には、**ぜひ一度、資料室までご相談ください。**

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
DRI 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062

URL <https://www.dri.ne.jp>

開室時間 9:30~17:30(展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)

閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)

12月29日から1月3日



阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

資料室ニュース



Vol. **76**

2021年
12月発行

2018年9月に「阪神高齢者・障害者支援ネットワーク」からの資料寄贈をきっかけに、研究プロジェクト(研究員3名、震災資料専門員1名)を立ち上げ、その活動が評価され、しみん基金・KOBELから「黒田裕子賞」を授与されました。同団体は、黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を「黒田裕子賞」という形で2016年から毎年1団体(or個人)に表彰しています。

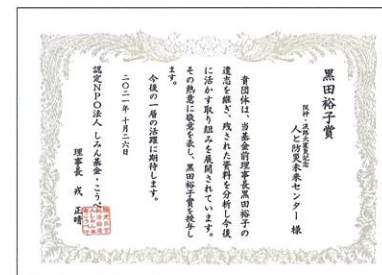
2019年12月から2020年3月まで、資料室企画展「被災地のナイチンゲールー黒田裕子が残したものー」を開催。



資料室企画展の様子



**第5回
「黒田裕子賞」
受賞!!**



2021年3月報告書作成
『黒田裕子氏の資料等分析による被災者支援の検証と継承』



報告書はHP上でダウンロードできます。
URL: https://www.dri.ne.jp/wp/wp-content/uploads/investigation_Vol.47.pdf

研究プロジェクトの成果の一部は、現在、人と防災未来センター東館の展示コーナーの一部で展示しております(展示は来年3月までの予定)。協力してくださった関係者のみなさまに感謝申し上げます。

人と防災未来センター 資料室企画展

西館5階資料室
月曜日、年末年始休館
※詳しくは、HP開館カレンダーをご覧ください。
9:30~17:30
無料

ひとぼうのたからもの

2021.12.14 [Tue] - 2022.5.8 [Sun]

人と防災未来センターは、令和4年4月に開館20年目を迎えます。本企画展では、人と防災未来センターが所蔵する資料を通して、震災資料の収集とセンター開館までの歴史を振り返り、「広く地域や時代を超えた私たちの財産」としての震災資料の価値を感じていただけるよう、震災資料収集活動についてのパネル及び関連資料を展示します。

「働く場」が「復興の地」へ ―振り返るHAT神戸―

人と防災未来センターは、2022年、開館20周年を迎えます。そこで、節目の年を迎えるにあたり、当センターが立地するHAT神戸地区の歴史を振り返ってみたいと思います。今、私たちが目にしているこの景観は、どのように形成されてきたのでしょうか。そこに阪神・淡路大震災はどのように関わっているのでしょうか。



「川崎製鉄株式会社（被災前）」

展示期間：2021年11月30日（火）～2022年2月27日（日）

当センターのあるHAT神戸地区臨海部は、かつては海の中でしたが、明治時代後半に埋め立て事業が始まり、大正・昭和と、西から東へ埋立地が広がっていきました。埋立地の西側には、川崎製鉄荻合工場、東側には神戸製鋼所協浜工場・岩屋工場が立地し、神戸の東の生産拠点として、その経済発展を支えてきました。

「神戸製鋼所神戸工場（被災前）」

展示期間：2022年3月1日（火）～2022年5月29日（日）

しかし、産業構造等の変化に伴い、平成に入ると生産拠点の移転等による大規模工場の遊休化が進みました。当地区の新たな土地利用計画について、1993年に整備の基本方針が示されましたが、その矢先に阪神・淡路大震災が発生しました。震災によって甚大な被害を受けた市街地の復興、特に緊急かつ大量の恒久住宅の供給が重要な課題となり、東部新都心（HAT神戸）計画は新たな「まちづくり」としてスタートすることになったのです。



パンフレット「東部新都心 HAT神戸」

今回の展示では、長年にわたって神戸の街を描き続けてきた宇佐美重氏の水彩画やHAT神戸のパンフレット等を通して、往時の風景や新しい街づくりに向けた取り組みについて、ご紹介したいと思います。こちらに掲載している資料のほか、HAT神戸の情報誌やテレホンカードも展示します。ぜひご覧ください！



2021年11月30日（火）～2022年5月29日（日）
人と防災未来センター西館3階（有料ゾーン）

夏休み 防災未来学校

ギャラリートーク&ハンズオン 震災資料ってなんだろう？

実施日：7/24（土）、8/6（金）、8/14（土）、8/18（水）



当センター西館3階に常設展示されている資料や資料室の役割を解説するギャラリートークでは、**普段は聞けない資料の話**を震災資料専門員がお話しました。みなさん熱心に聞いてくださっていて、嬉しかったです！

また、今回、資料室では初めて、実際の震災資料に触れる体験（ハンズオン）を行いました。初めて触る資料に、みなさん興味津々！！ぜひ来年もお越しください。



非常持ち出し袋ゲーム 『BOB for OO』

実施日：8/1（日）～8/31（火）



このゲームは、予め用意された防災グッズカードの中からアイテムを選んで、自分ではない「誰か」が使う非常用持ち出し袋をつくるゲームです。

参加して下さったみなさんは、何が必要か熱心に考えてくださっていました！

完成したカードは、防災について家で話し合う際に役立てもらうためにプレゼントしました。